



NEWSLETTER FOR THE JAPANESE
ASSOCIATION FOR DENTAL RESEARCH
(JADR)

国際歯科研究学会日本部会 会 報

1981—II

12月

A. 第29回日本部会 (JADR) 総会

1. 同総会は12月3日と4日、大阪科学技術センターにおいて、出題数73、出席者263名を得て盛大に、且つ成功裡に行われた。準備にあられた小西浩二理事(大阪歯科大学予防歯科学教室)をはじめ教室員の方々に対して厚く御礼申し上げます。
2. 学会に先立って12月2日午後2時より大阪歯科大学において本年第4回理事会が開催された。出席者：森政和会長、三浦不二夫副会長、田熊庄三郎前期会長、須賀昭一事務局長、河村洋二郎理事、常光旭理事、小西浩二理事。
3. 12月3日、午後12時35分より森政和会長の司会により総会 (business session) が行われた。

(1) 庶務報告 (須賀事務局長)

a. 理事会開催

| | | |
|------------|-------------|----|
| 1980年12月4日 | 1980年第3回理事会 | 東京 |
| 1981年4月17日 | 1981年第1回理事会 | 大阪 |
| 7月3日 | 第2回理事会 | 東京 |
| 9月22日 | 第3回理事会 | 大阪 |
| 12月3日 | 第4回理事会 | 大阪 |

- b. 第59回IADR大会(シカゴ)に先立って3月17日に開かれた本部理事会に森会長、河村理事、須賀事務局長が出席。

- c. 1982年1月9-10日にワシントンのIADR本部で開かれるInternational relation

committee と Long range planning committee には河村洋二郎理事が出席の予定。

d. 1982年3月18-21日には第60回 IADR 大会がニューオーリンズのマリオットホテルで開催されるが、それに先立つ3月14日の各部会々長会議と15・16日両日開かれる理事会には須賀昭一事務局長が代表として出席の予定。

e. 本学会名の改称に伴うその日本語名については未定のまゝであったが、従来通り国際歯科学研究学会日本部会と呼ぶことになった。

f. デンマークの Professor, O. Fejerskov (The Royal Dental College, Aarhus. IADR スカンジナビア部会々長) が10月9日より18日まで来日、その間、日本部会主催により10月11日に大阪大学歯学部において「石灰化組織に及ぼすフッ化物の影響について」、10月17日に東京歯科大学において「う蝕予防におけるフッ化物の合理的応用について」と題する講演会を行った。

(2) 会 計 報 告 (須賀事務局長)

下記の如く報告があり、船越正也教授(岐阜歯大)と三代幸彦教授(日本歯大)による監査報告を得た後、総会の承認を得た。

1981年度国際歯科学研究学会日本部会(JADR)会計報告

(1980年11月1日～1981年10月31日)

| 収 入 | | 支 出 | |
|-----------------------------|-------------|-------------------------|-------------|
| 前年度よりの繰越金 | 1,764,373 円 | 通 信 費 | 171,850 円 |
| 会 費 収 入 | 1,090,000 | 印 刷 費 | 253,000 |
| 1980年国際歯科学会総会組織委員会からの寄付 | 200,000 | コ ピ ー 代 | 13,520 |
| 1980年日本部会総会への補助金の返却(東京歯科大学) | 449,860 | 会 合 費(理事会4回) | 285,030 |
| 銀 行 利 息 | 22,457 | 文 房 具 | 26,710 |
| 合 計 | 3,526,690 | 特 別 講 演 謝 礼 | 50,000 |
| | | 感 謝 状 プ ラ ー ク 製 作 費(3名) | 75,000 |
| | | 接 待 費 | 76,066 |
| | | 誤 払 込 の 返 却 | 2,000 |
| | | 交 通 費 | 210,942 |
| | | (小 計) | (1,164,118) |
| | | 繰 越 金 | 2,362,572 |
| | | 合 計 | 3,526,690 |

(3) 第30回JADR総会は1982年12月2日と3日、東京医科歯科大学において開催されるむね三浦不二夫副会長より報告された。

(4) 協議事項

a. 学会名改称に伴なう constitution の一部改正について (須賀事務局長)

本件については理事会において検討を行って来たが、下記の如き提案と説明があり、総会の賛成を得、決議された。

(i) Article 1 の改正

(改正前)

CONSTITUTION OF THE JAPANESE DIVISION OF THE
INTERNATIONAL ASSOCIATION FOR DENTAL RESEARCH

ARTICLE I. Name : This organization is named : The Japanese Division of the International Association for Dental Research (hereinafter called "the Division" and "the Association" respectively).

(改正)

CONSTITUTION OF THE JAPANESE ASSOCIATION
FOR DENTAL RESEARCH

ARTICLE I. Name : This organization is named : The Japanese Association for Dental Research, a Division of the International Association for Dental Research, hereinafter called the Division.

(ii) 追加

ARTICLE III. Organization : The organization of the Division shall be in conformity with the Constitution of the parent body, the International Association for Dental Research, hereinafter called the Association.

(iii) Article VII の改正

(改正前)

ARTICLE VII. Officials. Section 1. Officers. The officers of the Division shall include a President, a President - Elect, a Vice - President, a Secretary - Treasurer and an Executive Secretary.

A. The President, President - Elect and Secretary - Treasurer shall be elected from among the members (active member) at the annual meeting of the Division. The Vice - President and Executive Secretary shall be appointed by the Council.

(改正)

ARTICLE VIII. Officials : Section 1. Officers. The officers of the Division shall include a President, a President - Elect, a Vice - President, and a Secretary - Treasurer.

A. The President, President -Elect and Secretary -Treasurer shall be elected from among the members (active member) at the annual meeting of the Division. The Vice-President shall be appointed by the Council.

(iv) Article VIII の改正

(改正前)

ARTICLE VIII. Council of the Division. Section 1. Personnel.

The Council of the Division shall consist of the President, the President -Elect, the immediate Past -President, the Vice-President, the Secretary -Treasurer, the Executive -Secretary and two Councillors. The Councillors shall be appointed by the President every two years.

(改正)

ARTICLE IX. Council of the Division. Section 1. Personnel.

The Council of the Division shall consist of the President, the President -Elect, the immediate Past -President, the Vice-President, the Secretary -Treasurer and five Councillors. The Councillors shall be appointed by the President every two years.

(v) 付則 5 の改正

(改正前)

5. 総会開催報告・演題募集・プログラム編成・抄録集の作製・会場設営・参加費の徴収など総会に関する事務は、すべて President の指示により、Executive Secretary がこれを担当する。

(改正)

5. 総会開催報告・演題募集・プログラム編成・抄録集の作製・会場設営・参加費の徴収など総会に関する事務は、すべて President の指示により、担当 councillor がこれにあたる。

b. 終身会員について (須賀事務局長)

理事会での審議により Constitution の付則, 1. 会員, 1.4) により, 下記の方々を終身会員 (Life member) として推薦することとし報告, 総会の賛成を得, 決議された。

・終身会員 (順不同)

秋吉正豊, 神沢康夫, 中沢 勇, 荒谷真平,
桐野忠大, 新国俊彦, 榎 恵*, 松宮誠一*

大西正男* 総山孝雄, 松下義雄, 鈴木賢策,
 今川与曹, 永井巖, 上野正, 渡辺義男,
 山田守, 山下浩, 横田成三, *印は名誉会員

c. 次期会長選挙の結果について (三浦選挙管理委員)

本年9月22日の理事会の決定による理事会推薦次期会長候補須賀昭一教授(現事務局長)に関する選挙は郵送により11月10日〆切りで行われた。その結果は次の如くである。

| | |
|------|------|
| 須賀昭一 | 302票 |
| その他 | 8票 |
| 無効 | 2票 |
| 計 | 312票 |

従って総会の承認を得、須賀昭一教授が1983年と1984年のJADR会長に選任された。尚、1982年にはPresident-Elect(次期会長)として事務局長と兼任することになる。

(5) 終身会員に対するブランクの贈呈

当日、御出席された横田成三、大西正男、秋吉正豊、総山孝雄の四先生に対し森政和会長よりブランクが贈られ、その後、全員を代表して横田成三先生よりの御挨拶があった。御出席されなかった先生方には後日、事務局より発送された。

Japanese Association for Dental Research (JADR)

国際歯科研究学会日本部会

〒102 東京都千代田区富士見 1 - 9 - 20

日本歯科大学歯学部病理学教室内

電話 (03) 261-8311 内線 291, 292